

より、既存顧客だけでなく取引実績がなかった大手メーカーや地方の新規顧客からも注文が入るようになり、同社の規模は全国区に成長した。今では新規顧客は毎年増え、これに伴い売上も拡大しているという。

スーパーパンチングの技術開発

パンチングメタル製造以来、半世紀以上、常に技術研さんを重ねてきた同社の強みは「スーパーパンチング」および「超スーパーパンチング」と名づけた独自技術だ。2009年、ステンレス材にて板厚より小孔径、狭ピッチのプレス加工を実現する「スーパーパンチング」を開発。さらに、18年には「超スーパーパンチング」も開発した。この技術を活用すれば、従来、板厚の70%程度が限界だった孔径が、50%まで可能となる。板厚を維持できるため、フィルターなどの耐久性を向上し、切削やレーザに比べ加工コストの低減にもつながる。

ほかにも、銅板だけでなくCFRTP（熱可塑性炭素繊維強化プラスチック）など樹脂へのパンチング技術の高度化も進めており、今後はこの技術を活用して、原子力プラント向けや水処理プラント向けなど地球環境保全に貢献する製品を提供する。さらなる用途拡大を宇宙空間へも目指す考えだ。併せて、地球環境維持への貢献は同社の経営理念の1つであり、この技術を核に25年には環境マネジメントシステムに関する国際規格「ISO 14001」の認証取得を目指している。

スーパーパンチングの開発を本格化させたきっかけは、海外のパンチングプレス機メーカーやパンチングメタルメーカーの驚嘆した反応だった。「06年にドイツ・ハノーバで開催された板金加工工業界の専門展『ユーロブレツヒ』を訪れた。当社が手がけた鉄製パンチングメタルの試作品を持ち込み、パンチングメタルメーカーに尋ねて回ったところ、『アメイジング！』と高く評価いただいた。この技術は通用するかも知れない」。当時、奥谷社長はこう感じた振り返る。また、「当時、当社の設備は決して新しいものではなかった。それでも、金型や加工法を工夫することで他社にはできない技術を生み出せる。技術を高めることの大切さを改めて感じ、同

に、設備更新の重要性も知った」と続ける。

世界に通用する人材を育成

オンリーワン・ナンバーワン企業を目指す同社は、人材育成にも重きを置く。「世界に通用する人材」の輩出を目指し、プロフェッショナル人材の育成に力を注いでいる。「社員一人ひとりが誇りと自信を持てる会社」になることを目標に、特に社員研修には年間約1000万円以上の費用を投じている。仕事に対する考え方や、意識の変革を促すのが目的だ。

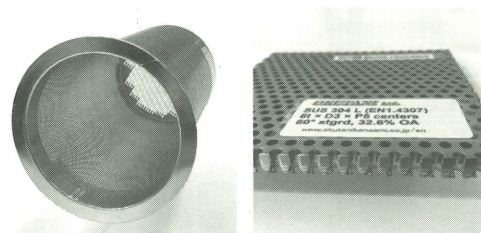
社員研修では全社員を4チームに分け、各チームが年4回のスケジュールでそれぞれ研修会を開いている。外部から講師を招き、毎年テーマを変えて実施。技術研修や役職者研修など、多様な内容で展開している。掲げる目標の達成には、社員の意識改革とベクトル合わせが何より重要だと考えるからだ。

また、人材育成と並行して職場環境の改善も進めている。本社管理部の業務室を、より働きやすいよう開放的にリニューアル。本社管理部の人員体制を現在の4名から今後は6名に増員する考えである。加えて、明石第二工場も改装した。老朽化したスレート屋根・外壁に遮熱・断熱・高耐久化コーティングを施すことで、エアコンを使わずに、同工場内の温度を約5℃も低減。空調に係るコストを削減した。

人材育成と職場環境改善を推進し、世界でのオンリーワン・ナンバーワン企業を目指す。

Company Profile

- 社名：株式会社奥谷金網製作所
- 代表者：代表取締役 奥谷 智彦
- 所在地：〒650-0025 神戸市中央区相生町4-5-5
- 創業：1895年5月
- 事業内容：総合金網・パンチングメタルの製造・販売
- URL：<https://www.okutanikanaami.co.jp/>



▲同社の代表的な製品例。超スーパーパンチング（写真右）と二相ステンレス鋼ストレーナー（写真左）